

畑日記

中江 聡

9月某日、この日はとにかく、熱かったです。内職、畑、剪定など、さまざまな仕事を立て込んでおり、葦の会としては嬉しい悲鳴が出る日でした。私なんか、本当に少し悲鳴が出たくらいです。その為、前日からメンバーと職員がどこで、何の仕事に、どれほどの時間を割けるのかを計算し、完璧な作戦を立てて、当日に臨みました。長くなりましたが、何が熱かったのかというと、その日の葦の会の仕事に関する『熱量』です。各持ち場で、絶対に終わらせる！という熱気に包まれていました。かくいう私は、完璧な作戦を実行できるのか不安を抱きながらも、ここまで来たら、やるしかない！と自分を奮い立たせながら、畑へ向かいました。その日の畑の仕事は、とにかく土作り！先月号でもお伝えしましたが、この時期は蒔いた種が芽を出し、ポット上げが忙しい時期です。そこで、必要になってくるのが当然、土。連日、これらの工程を行っていたため、土を使い果たしてしまいました。当日は、ゼロからのスタートです。

【葦の会 畑講座～そもそも土作りって？～】

- ① 赤土という鉄分を含んだ粘土質の土を専用のふるい機にかけます。
- ② 葦の会自家製腐葉土をこちらも専用のふるい機にかけます。
- ③ ①②を1：1の割合で混ぜます。ムラができないよう、よく混ぜるのがポイントです。
- ④ 栄養満点で清潔な土が完成。お求めは、各花売りや「り～どおるがん」にて！（一袋100円）



と、上記の工程を5回行うのが、我々のノルマでした。一輪車で各5杯、計10杯分を作ることになります。また、土作りをしながらもポット上げ用に、完成した土をどんどんポットに入れていかなければなりません。私も前日から、どのメンバーがどの配置で何をするかを何度もシミュレーションしました。そして、いざ当日！明久さんが赤土や腐葉土を運び、毛利さんがふるい機にかけ、宮島さんが出来上がったものを一輪車へ入れていきました。3人は連携を取りながら、流れるように動いてくれ、瞬く間に土が出来ていきました。出来上がって

からは、Aさんが、これまた良いペースで、ポットに土を入れてくれました。清水さんも声を出して笑うくらい上機嫌に土入れを行ってくれたところもあり、作業は順調に進みました。結果、予定より早い段階で、ノルマをクリアしていました！翌日分の土作りや土入れも行う事が出来たくらいです。やっぱりメンバーは、すごいな～。私なんか、メンバーがペース良く行ってくれているのだからと張り切って、赤土と腐葉土を混ぜる工程を行ったものの、ほとんどやったことがない事もあり、一人あたふたする始末。そんな様子を見かねたのか、内堀職員が寄ってきて「代わりな！」・・・「任せた！！！」と私は、早々にバトンタッチ。代わってからは、あっという間に土が完成していました。

結局、この日の葦の会の仕事は、すべてにおいて無事終了。内職や剪定を行ったメンバーもさぞ頑張った事だろうと思います。お疲れ様でした！そして、これからもやってくる『嬉しい悲鳴デー』もよろしくお願いします。

